

## サッポロベトナム ロンアン工場に 太陽光発電設備を導入、海外拠点での再エネ化を推進 年間約 706t の CO<sub>2</sub> を削減

日本国内においては、全工場、全営業拠点での電力の  
100%再生可能エネルギー化を 2026 年に実現します



サッポロビール（株）は、脱炭素社会の実現を目指した取り組みの一環として、7月15日にベトナム南部にある「サッポロベトナム ロンアン工場」（注1）に太陽光発電設備を導入しました。

当社子会社のサッポロベトナム社ロンアン工場は、2011年に竣工し、ベトナム国内のみならずアジアやオセアニア、ヨーロッパへの商品供給を行う工場であり、アジアパシフィック戦略において重要な拠点です。

ロンアン工場の導入設備は、太陽光パネル1,296枚、総パネル面積は約4,190平方メートルで、設備稼働による年間発電量は約1,043MWh、CO<sub>2</sub>排出量は年間約706t削減（注2）される見込みです。ロンアン工場ではこれまで環境省JCM制度を利用した設備補助事業の採択（注3）、ベトナム国内のビール輸送での内航船使用（注4）など物流部門での取り組みも含め、環境負荷低減の対策に取り組んできました。今回の再生可能エネルギーを用いることで、より一層の排出量削減を進めていきます。

日本国内では、全工場・全営業拠点で使用する電力の100%再生可能エネルギー化の計画を2030年から2026年へ4年前倒しすることとしました。

サッポログループは「サッポログループ環境ビジョン2050」（注5）で温室効果ガス排出量削減の中長期目標を掲げています。今回の国内外における取り組み強化で達成確度を高め、脱炭素社会の早期実現を目指します。

（注1） SAPPORO VIETNAM LTD. <https://sapporovietnam.com.vn/>

（注2） Department of Climate Change (DCC ベトナム気候変動局) 発表 (2024.03) のCO<sub>2</sub>削減量係数 (0.6766t-CO<sub>2</sub>/MWh) をもとに算出。

（注3） [https://www.sapporobeer.jp/news\\_release/0000011080/](https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000011080/)

（注4） [https://www.sapporobeer.jp/news\\_release/0000012113/](https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000012113/)

（注5） <https://www.sapporoholdings.jp/sustainability/environment/management/vision>

以上